

外観



物流倉庫機能を含む複合用途施設の3F、約5,300㎡に梓設計の本社機能を集約している。

オフィス入口



全長100mのランウェイ(滑走路)がワンフロアのオフィスを縦断。エントランスからカフェテリア、ワークスペースなど、さまざまなスタイルのアクティビティの場をつないでいる。

女性トイレ 洗面コーナー



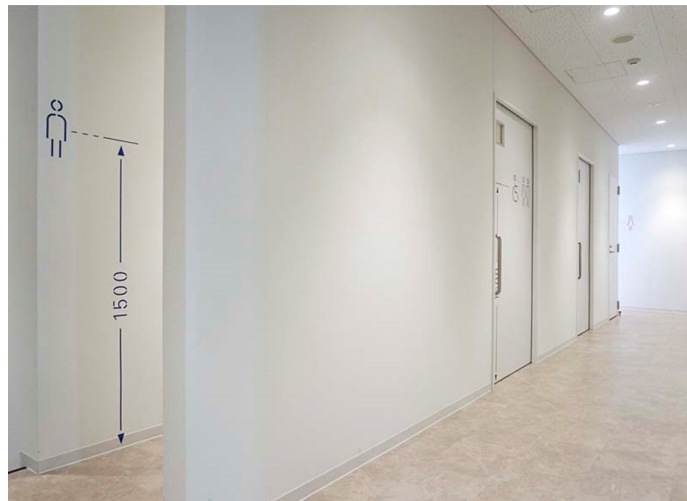
自然光が入る大きな開口部を正面に、洗面コーナーを配置。4種類の洗面器と水栓金具の設置により使用感の違いを体感できる。バリエーションを豊かにすることでショールームの役割を持たせている。

女性トイレ 洗面コーナー



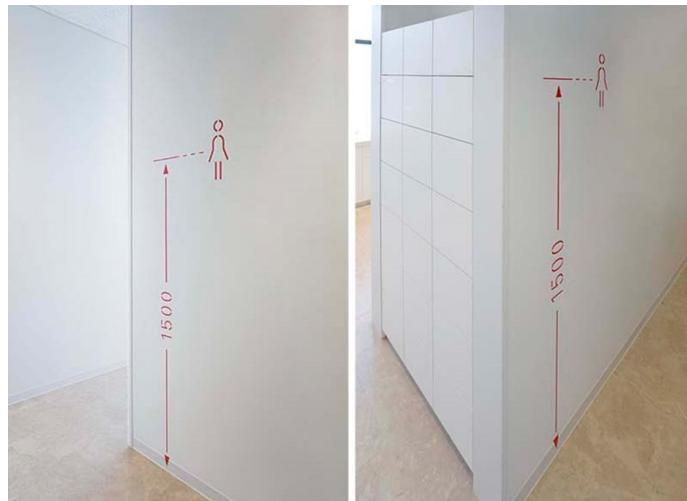
洗面器は、アンダーカウンター式、ペッセル式を設置。丸形と角形を選定した。自動水栓は、洗面器の本体外側に設置するアウトセットタイプと本体上に設置するインセットタイプを採用。

トイレ入口



トイレはショールームをイメージし、白を基調にスッキリとした内装。設計者が毎日利用するトイレとして、寸法や空間などの身体感覚を磨き、学べるようにさまざまな種類の衛生器具を採用している。

女性トイレ 入口



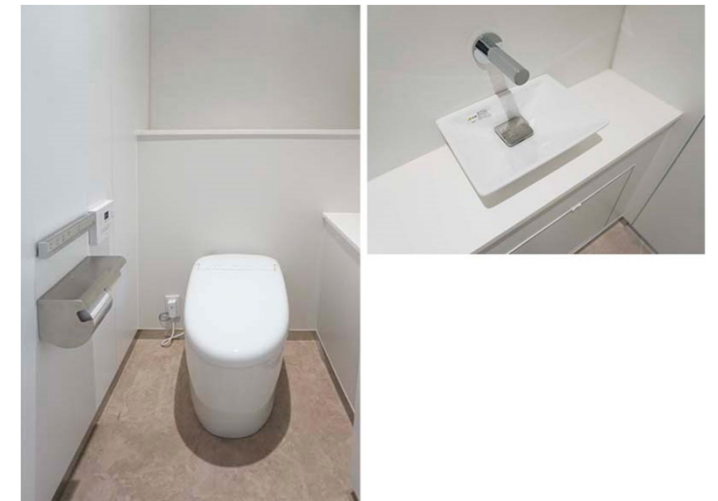
入口に小物入れを設置。通路にあるため、扉は把手の不要なプッシュプル式にしている。

女性トイレ 大便器コーナー



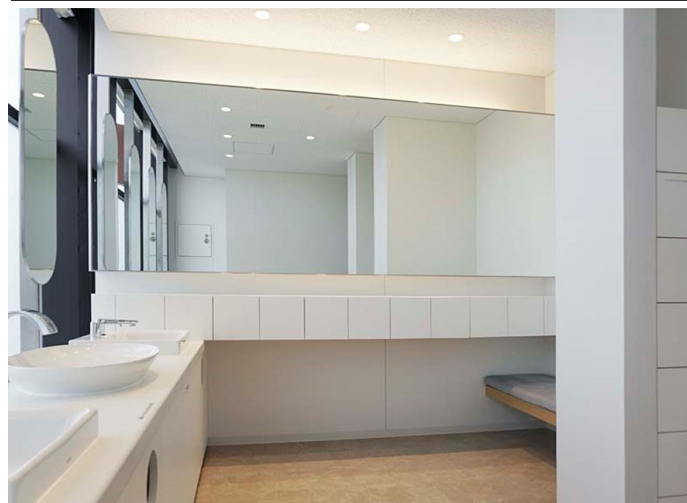
大便器ブースの表面に寸法を記載。設計者が日々の利用で体感しながら寸法を確認することができる。また、センサーを設置し、利用状況のデータ収集を行っている。

女性トイレ 大便器ブース



ローシルエットで丸みを帯びたフォルムのネオレストRHを設置。小型のペッセル式手洗器を設置し、ブース内で手指を洗うことができるようにした。このほか大便器は全4種類を採用。

女性トイレ 全体



白を基調とした明るく清潔な空間。スタイリングコーナーの全面鏡がトイレを広く見せている。

女性トイレ スタイリングコーナー



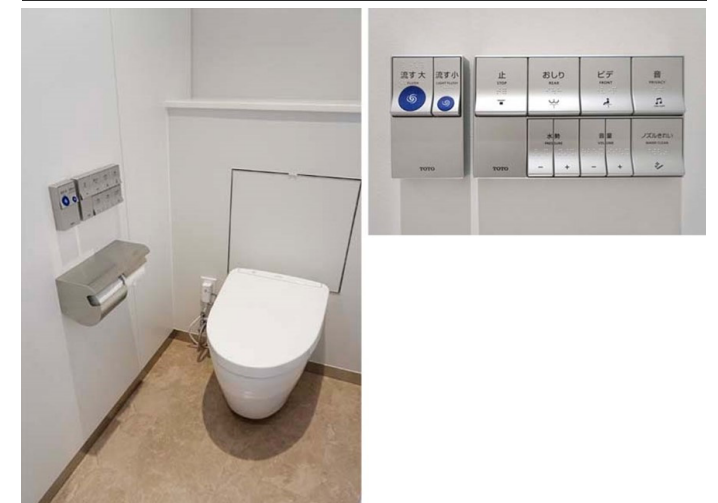
鏡に近づきやすくお化粧直しがしやすいスタイリングコーナー。ベンチがあり、快適に身繕いができるように配慮している。カウンター内に設けた小物入れは、上部に切り欠きを設けた開き扉式。

女性トイレ 大便器ブース



ローシルエットで直線的なデザインのネオレストAH、ホテル向けウォシュレット一体形便器を設置。ライニングはL型とI型の2パターン。複数の荷物を安心して置くことができる。

女性トイレ 大便器ブース



清掃性に優れた壁掛大便器セット・フラッシュタンク式に、便座はウォシュレットアプリコトPのエコリモコンセットを設置。ボタンを押すと自己発電するリモコンは乾電池交換や配線工事が不要な仕様になっている。

男性トイレ 洗面コーナー



空間を広く見せる全面鏡を設置。女性トイレと同様に4種類の洗面器と水栓金具の設置により、設計者が日々の利用でそれぞれの違いを体感することができる。

男性トイレ 洗面コーナー



洗面カウンターは1ヶ所は、丸形の化粧鏡とアンダーカウンタータイプの丸形洗面器を設置。歯磨きセットや身づくろいグッズをしまう小物入れを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



マイクロ波センサー壁掛小便器セットと壁掛自動洗浄小便器を交互に設置。足元には、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



ライニング表面に寸法を表記。小便器のライニング高さ、器具間寸法、必要な点検口サイズを日常的に意識して体感、確認できるようにしている。

男性トイレ 洗面コーナー



女性トイレと同様の器具を設置。自動水栓はコンテンポラリタイプ角形、平行、ステンレス仕様と、湯水切り替え(センサー式)のZNを選定。

男性トイレ 大便器コーナー



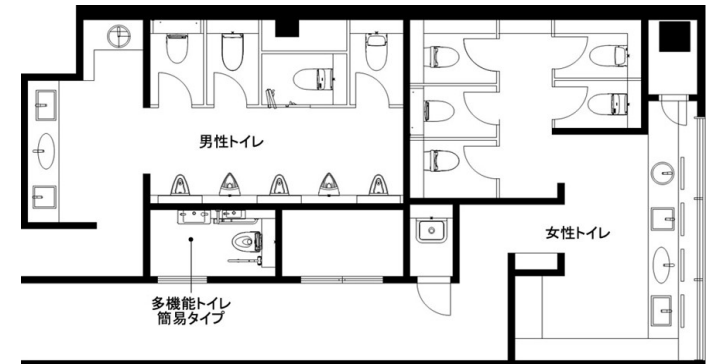
ブース扉は、内開き式と折戸式を選定。折戸式のブースは個室寸法以外に出入りの間口寸法も表記している。

多機能トイレ 簡易タイプ



男女トイレの入口の間に多機能トイレ簡易タイプを配置。さまざまな身体状況や性の多様性に配慮して、だれもが日常的に利用できるトイレを用意している。

トイレ図面



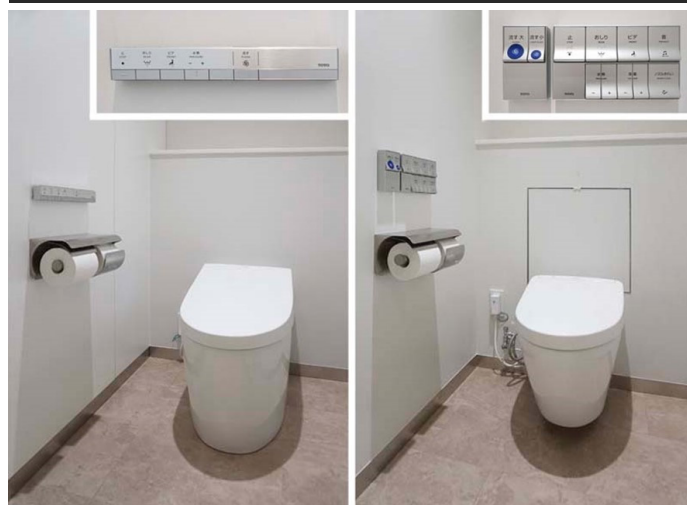
男性トイレの大便器ブースのうち、1ヶ所は便器の側方から入るタイプを設け、折戸式扉を採用。女性トイレの大便器ブースは、間口を4種類(900mm、1000mm、1100mm、1200mm)設けている。

男性トイレ 大便器ブース



ローシレットのホテル向けウォシュレット一体形便器ホテルリモコンタイプ、ネオレストRHタイプ(スティックリモコンパブリックタイプ)のほか女性トイレ同様に全4種類の大便器を採用している。

男性トイレ 大便器ブース



ネオレストAHタイプ(スティックリモコンパブリックタイプ)、壁掛大便器セット・フラッシュタンク式にウォシュレットアプリコトPのエコリモコンセットを設置している。

建築概要

名称	株式会社梓設計 本社
所在地	東京都大田区羽田旭町10-11 MFIP羽田3F
事業主	<ビル事業主>三井不動産株式会社
施主	<テナント施主>株式会社 梓設計
設計・施工	<ビル設計・施工>日鉄エンジニアリング株式会社
設計	<内装設計>株式会社 梓設計
施工	<内装施工>株式会社 JAL ファシリティーズ
竣工年月	2019年8月

水まわりの特長

<建物の特徴>
 空港・スポーツ施設を数多く手掛ける梓設計は、都内で2ヶ所に分散していた本社機能を統合。社員全員の顔が見えるオフィスづくりを目指し、羽田空港を臨む複合用途施設のワンフロアに約5,300㎡の開放的な新オフィスを設けた。オフィスレイアウトは役員室や固定席を置かない全社員フリーアドレス制のほか、テレワーク、サテライトオフィスなどの運用を本格的に導入し、自由で多様な働き方を実現。半個室の作業ブースや間仕切りのある集中デスクを設けるなど、さまざまな働き方に応える空間になっている。オフィスを縦断する4本のランウェイでは打合せやプレゼンテーションなどさまざまな風景が広がり、オフィスの骨格をつくっている。

<トイレの特長>
 梓設計専用のトイレエリアの入口はカフェテリアの隣に位置し、フロアのリラクゼーションのエリアに分類される。トイレはショールームをイメージし、器具の種類や組み合わせ、ブースの寸法と扉の開き方などバリエーションを設けることで設計者が寸法感覚や使用感、仕様の違いを身に着けることができる「体感型の学ぶトイレ」になっている。大便器は4種類を設置。小便器は2種類、洗面器と水栓金具は4種類選定している。